

字

西區長河口淳

私立大阪商業講習所ヨリ、所、就、建、言、所
之、以、交、可、及、何、分、之、論、後、以、案、有、志、者、等、
納、金、額、ヲ、確、定、已、連、署、據、原、之、上、更、
之、以、以、採、可、取、計、此、旨、在、達、以、也、

明治四十年三月七日

大阪府知事連理郎三

子

丙
明治四十年
第四百九号

学務

公立大阪商業講習所設立建言

五多也子言

公立商業講習所設立建言

府下有志十七名總代門田三市香河口淳

西名謹啓

大阪府知事 谷下ニ奉建言候方今吾國學
事盛ナルヤ大學アリ中小學アリ之ヲ統フ
ルニ文部ノ省ヲ以テシ全國ヲ率テ其教化ニ
活セシメ僻阪ノ村童モ尚能ク咿唔ヲ發シ
商家ニ稚丁モ亦能ク字義ヲ解スルニ至
レリ加之ナラス専門學課ノ如キ既ニ官立ヲ
以テ工學理學法學化學農學若シ諸部
ヲ置キ專ラ其學術ノ裨奧ヲ究メシム又夫ノ
陸軍將校ヲ教育スルニ上下士官學校アリ

海軍水師ヲ養成スルニ海軍兵学校アリ
其他府縣ノ公立ヲ以テ専門費ヲ設置
スルモノ指屈スルニ暇アラス就中高学課ニ
至リテハ當府ニ公立商船學校アリ東京
府ニ公立高法講習所アリ兵庫岡山ノ
西側ニ於テモ亦各公立高業講習所ノ
設アリ嗚呼吾政府ノ人材教育ニ意ヲ用サ
ラル、實ニ深旦切ナリト謂フベシ誰カ其優恩ニ
感仰セザルモノアラシヤ不敏余輩ノ如キモ亦全
國商業ノ中心都會ト稱セラル、吾大阪府
府民タルノ榮ヲ荷フテ以テ當府下ニ高

業専門ノ一大費ヲ起シ一ハ以テ國恩ノ万
一ニ報シ一ハ以テ高權擴充ノ裨補ニ供
セントスルノ念慮ヲ抱クヤ茲ニ年アリ偶ニ
昨明治十三年九月ヲ以テ有志ヲ嘯集シ
費金ヲ募醵シ一箇ノ商業講習所ヲ設ケ
ントスルノ議ヲ發セシニ之ヲ贊助スルモノ續々輩
出シ不日ニシテ若干ノ醵金ヲ得タルヲ以テ先
ツ假大阪商業講習所ヲ立賣堀北通三丁
目ニ置キ其主任者ヲシテ府下ノ習俗ニ適ス
ルノ教課ヲ編成セシメ壯年有志ノ生員
ヲ募集セシニ未タ教員器具書籍等ノ

整頓セサルニモ拘ラス入學者日々相踵キ本年一月ニ至リテハ百有余名ノ多キヲ致セリ又以テ商業講習所ノツラ府下ニ適切必要ナルヲ見ルニ足レリ因テ尚ホ一層ノ保護ヲ加ヘ中央便利ノ位地ヲ與ヘ校舍ヲ築造シテ其体裁ヲ整ヒ塾舎ヲ設置シ寄宿生ヲ來シ外人ヲ傭フテ海外通商ノ術ヲ講セシメ書籍器具ヲ備ヘテ實地演習業ヲ習ハシメ教課ヲ改良シ高尚ニ失セス卑下ニ陷井ラズ漸次卑キヨリシテ高キニ登リ通キヨリシテ遠キニ至ルノ順序階梯ヲ設ケシメ

實地簿冊改正掛ヲ置テ全府目下ノ帳簿ヲ改正セシムル等ノ事ヲ履行セシムルニ於テハ當ニ當府下商賈一般ノ便益ヲ得ルノミナラス全國後進ノ商人子弟ヲ教育シ所謂商權恢復ノ裨補ト為ル可キハ余等ノ信シテ疑ハザル所ナリ雖然有志者限アリ資金裕ナリトセズ前件ノ事項ヲ實行セシニハ尚許多ノ有志者ヲ募分ラカルベカラサルナリ有志者ヲ募リ醵金ヲ集ムルノ事難キニ非スト雖モ其維持ヲ永久ニシ其便益ヲ擴張セシニハ到底官府ノ

御保護ヲ仰カスニハ能ハサルナリ若シ然ラズニハ或ハ恐ルカ一敷多ク有志中種々ノ異見捷々異論ヲ持スルモノアラハ帝口ニ其成績ヲ紊ルノミナラス半途ニシテ中絶シ前切ノ畫餅ニ屬セシテ是レ實ニ余輩ノ今日ヨリ焦慮ニ堪ヘサル所ナリ因テ夫ノ高松学校ノ例ニ倣フテ今日迄出金ノ承諾ヲ得タルモノヲ引去リ殘金及將來募集ノ餘金其他書籍器具教員等ヲ併セテ悉ク之ヲ政府ニ奉寄納改メテ公立大阪商業講習所ト爲シ以テ其教育

ヲ府下公衆ニ無疆ニ蒙ラシメテ仰企懇願ノ至ニ堪ヘス伏シ惟ハクハ明府閣下余輩ノ赤心ヲ御酌量被為在前件建言ノ主意ヲ御採用被成下ニテ不敏余輩有志總代ト爲リ敢テ威尊ヲ瀆冒ス至情ニ誠懇誠惶

私立大阪商業講習所

創立員

明治五年二月十日

五代 友厚

鴻池 善右衛門

住友嘉門代理

平頼 龜之助

廣頼 率平

板村 正太郎

大三輪 長兵衛

瑞雲 漆造 會社

滋谷 正三郎

滋谷 庄十郎

安田 源三郎

金沢 仁兵衛

國中 市兵衛

廣野 九郎 存

筑紫 三次 市

河 口 淳

門 田 三 市 三 郎

醬 油 商 社

右總代

府下西原西長塙

北通三丁目七番地平民

門田三市兵衛

同府下西原土佐塙

裏町三拾四番地土族

河口淳

大阪府知事
建野郷三殿

.....

本資料は、大阪商工会議所所蔵の「五代友厚関係文書」収録資料のうち、お問い合わせの多いものを抜粋し公開するものです。

資料を複製使用する場合は、あらかじめ申請書を提出し許可を受けていただく必要があります。

手続きにつきましては、下記事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

【事務局】大阪商工会議所 大阪企業家ミュージアム

〒541-0053 大阪市中央区本町 1-4-5 大阪産業創造館 B1F

TEL 06-4964-7601 FAX 06-6264-6011

museum@osaka.cci.or.jp

.....